



出血を伴う手術・検査等を行う際には 事前に中止する薬剤がないか確認してください

2019年4月に発行された医療安全情報No.149にて、医療機関内で観血的医療行為前に中止する取り決めがある薬剤を把握していなかったことや中止指示を出さなかったことにより、予定した手術・検査が延期になった事例が報告されています（2014年1月1日～2019年2月28日の集計期間において下記7件）。

薬剤の中止の遅れによる手術・検査の延期の事例

延期した手術・検査	中止しなかった薬剤	成分名	背景
気管支鏡検査	タケルダ配合錠	アスピリン/ ランソプラゾール	問診票の見落とし 薬効の理解不十分
尿管結石症の検査			患者からの薬剤聴取の 不備
肺癌の検査	ロコルナール	トラピジル	薬効の理解不十分
乳房切除術・ センチネルリンパ節生検	ロトリガ粒状Cp	オメガ-3脂肪酸 エチル	
脳神経外科手術	プラビックス錠※	クロピドグレル	中止指示の出し忘れ
扁桃摘出術	ペルサンチン錠※	ジピリダモール	
大動脈弁置換術	アスピリン	アスピリン	中止指示の不十分

※当院では後発医薬品が採用されており、
アクシデントが報告されておりますのでご注意ください。

事例が発生した医療機関の取り組み

- ★手術・検査の際に休薬する薬剤の一覧表に成分名を記載し、院内で周知する
- ★手術・検査を計画した際、患者の内服薬を把握し、中止する薬剤がないか確認する

当院オンラインマニュアルの「医薬品関連」→「薬剤管理指導ツール」→「◆◆手術関連◆◆」の「4. 抗血小板薬・抗凝固薬の休薬期間」に院内指針が掲示されています。裏面にも記載致しますのでご確認ください。

抗血小板薬・抗凝固薬・抗精神病薬の休薬期間の院内指針

- ・休薬期間はあくまでも目安です。出血リスク、塞栓リスクに応じて適宜相談・判断ください。
- ・他剤併用療法時は休薬期間を参考に相談・判断ください。

	当院採用薬（一部未採用） （代表的薬剤）	一般名	血中濃度半減期	手術前休止期間	参考文献	備考（根拠、作用持続時間など）
抗血小板薬	バイアスピリン錠100mg	アスピリン	2時間	7日前	①、②、③、④、⑤	血小板機能を不可逆的の抑制するため、血小板新生に必要な期間
	タケルダ配合錠	アスピリン・ ランソプラゾール配合剤		7日前		
	バファリン配合錠A81	アスピリン・ ダイアルミネート配合剤	2時間	7日前	①、②、③、④、⑤	
	チクロピジン塩酸塩錠100mg 「サワイ」 （バナルジン）	チクロピジン	1.5時間	7～10日前	①、②、③、④、⑤	
	ブラビックス錠75mg	クロピドグレル	0.5～3時間	7日前	①、②、③、④、⑤	
	コンブラピン配合錠	アスピリン・ クロピドグレル配合剤		配合剤のため 2剤併用となっています。		
	エフィエント錠 (3.75mg、5mg)	プラスグレル	5時間	7～10日前	①	
	プレタールOD錠100mg	シロスタゾール	11～13時間	2日前	①、②、③、④、⑤	血小板機能抑制は、薬剤の血中濃度に依存するため、薬剤の排泄に必要な期間
	サルボグレラート塩酸塩錠 100mg「F」 （アンブラーグ）	サルボグレラート	0.8時間	1日前	①、②、③	
	ペラプロストNa錠20μg 「サワイ」 （ドルナー、プロサイリン）	ペラプロストナトリウム	0.5～0.7時間	1日前	①、②、③	作用持続時間は8時間程度
	エバデールS900mg	イコサペント酸エチル	60～65時間	7～10日前	①、②、③	アラキドン酸→TXA2の経路復活に必要な期間
	ロトリガ粒状カプセル	オメガ-3脂肪酸エチル (EPA・DHA)	不明	エバデールに 準じて休薬	記載なし	アラキドン酸→TXA2の経路復活に必要な期間
抗凝固薬	ブラザキサカプセル (75mg、100mg)	ダビガトラン	14時間	4日前	①、②、③	直接的トロンビン拮抗薬として、 IIa因子（トロンビン）と、トロンビン-TM複合体を阻害
	イグザレト錠 (10mg、15mg)	リバーロキサパン	5～9時間	2日前	①	Xa因子の活性中止のS1ポケット に直接結合してXa活性を阻害
	エリキウス錠 (2.5mg、5mg)	アビキサパン	8～15時間	3日前	①	
	リクシアナ錠 (30mg、60mg)	エドキサパン	6～11時間	2日前	①	Xa活性を阻害
	ワーファリン錠 (0.5mg、1mg)	ワルファリンカリウム	4～5日	5日前	①、②、③、④、⑤	凝固因子の合成を抑制するため、投与中止後、凝固因子の血中濃度回復に必要な期間（ただし、中止により血栓リスクが大きくなることも考えられるため、半減期の短いヘパリンへの切替を考慮する必要がある）
血管拡張剤	プロレナール錠5μg	リマプロスタアルファデクス	0.5時間	1日前	①、②、③	血小板機能抑制は、薬剤の血中濃度に依存するため、薬剤の排泄に必要な期間（ただし、血小板機能抑制は上記の薬剤よりかなり弱い）
冠血管 拡張剤	コメリアンコーワ錠50mg	ジラゼブ	4時間	2日前	①、②、③	
	ジビリダモール錠「トーフ」 (25mg、100mg) （ベルサンテン）	ジビリダモール	10時間	2日前	①、②、③	
脳循環 改善剤	ケタスカプセル10mg	イブジラスト	13.5時間	3日前	①、②	

- ① 日本区域麻酔科学会ガイドライン
- ② 日本麻酔科学会 周術期医療チームテキスト第2版
- ③ 日本消化器内視鏡学会 抗血栓薬服用者患者に対する消化器内視鏡治療ガイドライン(2012)
- ④ 日本循環器学会 循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン(2009)
- ⑤ 日本循環器学会、日本心臓病学会、日本心電学会、日本不整脈学会 心房細動(薬物)ガイドライン2013年改訂版

2016年8月23日作成

尚、当院入院センターの持参薬鑑別においても、薬剤師がこれら薬剤の休薬指示の有無を確認しています。必要に応じて担当医の先生方に照会のご連絡をさせていただく場合がありますので、よろしくお願い致します。

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。（文責：山田）